

投資事業評価調書(新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川 昌一 (尾崎 幸忠)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	億円
		通常砂防事業 広垣川	養父郡八鹿町 小佐		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
養父郡 八鹿町 小佐				H13年度	H15年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進み土砂災害の危険性が高まっているため、対策ダムを設置して地域住民の人命・財産と小学校及び保育所の子供達を土砂災害から守る。	・ダム工 1基 (H=9.0m, L=43m)

評価視点	評価内容
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・広垣川は土石流危険渓流である。 ・流域状況は溪岸，溪床浸食が激しく、荒廃が進んでいるが、砂防設備は未設置である。 ・保全対象：人家＝2戸、災害弱者関連施設＝小佐保育所 公共施設＝小佐小学校，簡易郵便局，県道日影八鹿線 ・平成10年7月の豪雨時に県道へ土砂の流出が発生している。 ・県道が被災することにより、生活道路が分断され、日常生活に支障をきたす。
地域の活性化 快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、安心とゆとりある教育の場の提供ができる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・町及び地元の事業化への要望が強く、土砂災害に対する認識度も高い。 ・豪雪地帯対策特別指定地域に該当するため、砂防ダム整備により地域間格差の是正に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・人家2戸の他、小学校及び災害弱者施設である保育所を保全することから、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの要望が強く、町等の協力体制づくりもできており、円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流の被害想定区域には人家2戸、簡易郵便局の他、町立小佐小学校と保育所(災害弱者関連施設)があり、次代を担う子供達を土砂災害から守る必要がある。 ・流域の状況は、溪床勾配が急で荒廃も進んでおり、平成10年には土砂流出を起こしているため早急な対策が必要である。 ・この度、地元の合意形成が図られ、事業執行環境が整ったので事業着手する。

評価の結果	着手妥当	左	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-------	------	---	----------------------